



ビート・セルヴェンカ
(PETE CERVINKA)
局長

カリフォルニア州 - 保健福祉局

発達障害局

1215 O Street, Sacramento, CA 95814
www.dds.ca.gov



ギャビン・ニューサム
(GAVIN NEWSOM)
知事

方法論の概要 調査・監査・評価課 年次サービス購入 (POS) 報告書

方法論更新に関する通知 :

データの正確性と完全性の向上および法定要件の遵守に向けた継続的な取り組みの一環として、DDS (発達障害局) (以下、当局といいます) が、主要な人口統計情報の収集に関する [最新の要件](#) を発表しました。2025暦年に当該要件が地域センターによって実施される予定となっています。2023~24年およびそれ以降の報告書作成に使用される方法論は、これ以前の報告書作成に使用されてきた方法論とデータソースとは異なります。したがって、過去の期間との比較は慎重に行う必要があるため、必ず当局との協議の上で実施してください。

目的

WIC (Welfare and Institutions Code/福祉・施設法) 第4519.5条によって義務付けられている年間POS報告書を作成し、州全体および地域センター (RC) の支出と承認の概要を容易に閲覧できるようにすること

範囲

- 対象集団 : 特定の会計年度 (FY) の1月に早期開始段階 (ステータス1) またはアクティブ段階 (2、3、U) にある個人、あるいは会計年度内に1つまたは複数のPOS記録のある個人
- 期間 : 2023/24年度 (FY) (2023年7月1日 ~ 2024年6月30日)
- 内容 : RCによるPOSの支出、承認、使用、および個別プログラム計画 (IPP) の翻訳

構成

これは、2023～24年度（FY）の支出、承認、使用、IPPの翻訳を横断的に説明するものです。

データソース

- データソース：
 - 地域のRCが収集した情報は、毎月当局に送信されます。年次POS報告書のデータの大半には、その情報が使用されています。
 - クライアントマスターファイル（CMF）：個人識別子と人口統計
 - クライアント開発評価報告書（CDER）：最新のCDERファイルに記載されている診断
 - POS：承認済みのサービスに対する年度（FY）別の支出（または請求）および承認額
- また、年次POS報告書には、毎年秋までに当局に提出されるRCからの自己報告データが使用されています。
- IPP翻訳依頼の種類（一般的に使用されている言語または一般的に使用されていない言語への翻訳）
- IPP翻訳依頼日
- IPPの翻訳が依頼主に送付/送信された日付
- データ準備：
 - 会計年度（FY）の1月にアクティブ状態のCMF記録が欠落していない個人、または会計年度（FY）の任意の月に記録がPOSファイルに少なくとも1つ存在している個人の記録が抽出されます。
 - 一意のクライアント識別子（UCI）によって、その記録がCDERの診断指標にリンクされます。そして、重複が排除された後に、それがPOSファイルの支出および承認データにリンクされます。
- 包含/除外：
 - 金額が0の支出/承認および貸方/調整（負の額）を含め、欠落していない支出および承認記録がすべて含まれます。

- POS記録は存在するものの、それに対するCMF記録のないUCIは、人口統計データがないために除外されます。
- 契約記録 (「CONTRACT」 または別の契約識別子が含まれているUCI) は除外されます。

データ変換またはデータクリーニング

- 個人数 (別名 : 取扱件数) : 1月における段階が1、2、3、Uのいずれかである一意のUCI数、または会計年度 (FY) 中に1つまたは複数のPOS記録のある一意の個人数を指します。RCが変わった個人は、会計年度 (FY) に重複して数に加えられる可能性があります。POS記録のない個人は、1月のCMF記録に基づいてRCに割り当てられます。
- 支出総額 : POS請求の合計額を指します。
- 承認済みサービス総額 : 承認された金額の合計を指します。
- 1人あたりのサービス支出/承認額 : 支出総額/承認総額を個人の数で割った額を指します。1人あたりの金額の計算には、支出や承認のない個人も含め、すべての個人が含まれます。
- 使用率 : 支出総額を承認総額で割った値 (報告書の「使用済み」列に表示) を指します。
- POSなし : POS支出のない個人のサブセットを識別する際に使用するフィルタです。これには、会計年度 (FY) におけるPOS請求の欠落、金額が0の請求、負の請求額が含まれます。
- 年齢 : 年齢は会計年度の間時点 (12/31) に計算されて、0~2歳、3~21歳、22歳以上の3つのグループに分類されます。
- 人種 : 人種は、最新のCMFの記録に基づいて報告されます。これには、アメリカ先住民/アメリカンインディアンまたはアラスカ先住民、アジア人、黒人/アフリカ系アメリカ人、ヒスパニック、ハワイ先住民または他の太平洋諸島民、白人、他の人種または多文化という7つのカテゴリがあります。複数の人種の血を引いていると報告した個人は、他の人種または多文化のカテゴリに含められます。
- 言語 : 言語は、最新のCMFの主要言語に基づいて報告されます。
- 発達障害 : 発達障害は、最新のCDER情報に基づいて報告されます。障害には以下6つのカテゴリが含まれます。

- 自閉スペクトラム症 (ASD) : 自閉スペクトラム症または広汎性発達障害 (PDD) : AUTLEVEL値が1またはPDD値3/4と定義される
- 脳性麻痺: 脳性麻痺または他の重篤な運動機能障害: CPALSY値が1、2、3のいずれかとして定義される
- てんかん: 焦点起始発作、全般起始発作、分類不能発作: EPSEIZ1値が0以上と定義される
- 知的障害: 知的障害: MRLEVEL値が317、3170、70、F70、318、3180、71、F71、3181、72、F72、3182、73、F73、319、F78、F79のいずれかと定義される
- 第5区分知的障害と密接に関連していると診断された障害状態: CAT5値がYあるいはICD33Aが0または*以外と定義される
- その他上記のいずれのカテゴリにも該当しない診断がこれに含まれる。
- 居住地: 居住地は、年度 (FY) 末 (6月) の居住地コードに基づいて報告されます。居住地タイプには以下の9種類が含まれます。
 - CCF: コミュニティケア施設 (居住地コード44〜50)
 - FHA: 家庭養護/ファミリーティーチングホーム (居住地コード79)。FTH (ファミリーティーチングホーム) には独立した居住地コードがないため、このカテゴリに含まれます。居住地コード79はFHAとFTHの両方に使用されます。
 - ICF: 中間介護施設 (居住地コード52〜58)、継続介護施設 (居住地コード87)
 - ILS: 自立生活スキル (居住地コード13)
 - 自宅: 親/保護者/里親の家庭 (居住地コード11、78、80)
 - SLS: 生活支援サービス (居住地コード14)
 - SNF: 高度介護施設 (居住地コード59、60)
 - 国営施設: 発達障害者支援センターおよび州運営のCanyon Springs Community Facility (キャニオン・スプリングス・コミュニティ施設) (居住地コード20〜24、29〜31)
 - その他: 州外、ホスピス、一時滞在者/ホームレス、刑務所、青少年局、郡/市の拘置所、医療・リハビリセンター、病院、その他 (居住地コード9、40〜43、81〜86、89、90、98)

- 回復サービス回復サービスには以下5つのカテゴリが含まれます。この順序で評価されます。
 - 社会的レクリエーション：スポーツクラブ、スペシャルオリンピックス、参加者主導のコミュニティ活動、社会的レクリエーションプログラム、創造芸術プログラム（サービスコード008、084、459、525、094）
 - キャンプ：キャンプ、関連旅行サービス（サービスコード850）
 - 教育サービス（対象：3～17歳）盲学校・聾学校、家庭教師サービス、公立学校早期介入プログラム、教育心理学者、教師、教員助手、特別支援教育教師、家庭教師、教育サービス（サービスコード015、025、083、672、674、676、678、680、107）
 - 非医学的療法：専門レクリエーション療法士、芸術療法士、ダンス療法士、音楽療法士、レクリエーション療法士（サービスコード106、691～694）
 - その他の社会的レクリエーション：サブコードの冒頭が「SR」の記録（サービスコード642 [通訳]、725 [耐久医療機器販売業者]、896 [生活支援サービス] を除く）
- 保険：RCが支払う保険関連費用は、WIC第4519.6条に概説される通り、以下のサブコードを使用して分類されます。
 - 自己負担額：サブコードの冒頭がICP（すべてのRC）またはサブコード11（ACRCの場合のみ）となります。
 - 保険適用時の自己負担割合：サブコードの冒頭がICI（すべてのRC）またはサブコード12（ACRCの場合のみ）となります。
 - 免責額：サブコードの冒頭がDEDIとなります。
- IPP：IPP翻訳データは以下のように重複が排除されます。個人が複数の翻訳を依頼した場合は、それぞれが個別に数えられます。しかし、一般的に使用されている言語と一般的に使用されていない言語への翻訳の両方が同じ依頼で行われた場合は、一般的に使用されている言語への翻訳依頼のみが維持されます。

データ分析

- サービス支出/承認額の報告書は、RC別に要約され、以下の項目別に整理されます。
 - 年齢層

- 人種
- 言語
- 障害
- 居住地 (これは、年齢、人種、主要言語によってさらに細分化されます)
- POSがない場合や保険関連費用とIPP報告書は、RCによって要約され、以下の項目別に整理されます。
 - 年齢層
 - 人種
 - 言語
 - 障害
 - 居住地
- [カリフォルニア州保健福祉局の匿名化ガイドライン](#) に従い、個人のプライバシー保護を目的として、報告書にはセル抑制が適用されます。個人数、支出総額、承認総額、1人あたりの支出、1人あたり承認額の各フィールドに抑制が適用されます。これにより、使用済みの値が保持されます。
- 分析に使用されているソフトウェア：SQL & Python

追加情報

- 報告書は毎年12月31日までに公表する必要があります。
- 報告書には、請求受領までに少なくとも120日間を見込んで、アクティブな個人を識別するためのポイントインタイム (時点) (1月) 方式が使用されます。
- 1人あたりの値は生の平均値です。これは、年齢や他のサブグループ間の相違を考慮して調整された値ではありません。サブグループ全体の平均を組み合わせる際は、さまざまなサブグループのサイズを考慮に入れることが重要となります。取扱件数がわからない場合は、加重平均を計算することはできません。
- 前年の報告書と今回の年次POS報告書の主な相違点：
 - 2023/24年度 (FY)

- 取扱件数、人口統計、診断、支出、承認に関するデータは、カスタマイズされた新しい当局のビューから取得されています。IPPデータは個々のRCが自己報告し、当局に提出した情報です。
 - アクティブ状態がステータス1と2からステータス1、2、3、Uに拡張されました。
 - 当局の予算見積もりとの整合性を図ることを目的として、取扱件数のポイントインタイム月が12月から1月に変更されました。
 - POS報告書とNoPOS報告書の居住タイプが一致しました。報告書全体で同じ9種類の居住タイプが使用されています。
 - 以下の新しい報告項目が追加されました。
 - 回復サービス
 - IPP翻訳の適時性
 - 州全体の報告書
 - 報告書の作成と公開に関する変更点は以下の通りです。
 - 一貫性、透明性、文書化の向上を目的として、すべてのデータの準備、集計、報告書作成が当局内で実施されています。
 - すべての報告書は機械可読形式で利用することができます。
 - すべての報告書へのリンクは、当局のウェブサイトの中央の場所に掲載されています。
- 2022/23年度 (FY)
- 取扱件数、人口統計、診断、支出、承認といったデータは、上記の情報源から抽出されていました。
 - 匿名化ガイドラインの遵守を目的として、必要な抑制の量を制限するために、言語が5つのカテゴリに分類されていました。
 - 当局がデータの集約を実施し、RCに提供していました。